

## プレスリリース

報道・教育担当 各位

2016/6/2

名古屋学院大学学長 木船久雄



株式会社イトウ珈琲商会×名古屋学院大生×愛知学院大生コラボ

## 「学生が飲みたくなるコーヒー」の開発・販売。

名古屋学院大学では、岡本 純商学部教授のゼミ生 20 名が、株式会社イトウ珈琲商会、愛知学院大学脇田ゼミ、尾崎ゼミと協同で、学生が飲みたくなるコーヒーをコンセプトにドリップパックコーヒー「はじめブレンド」（内容量 12g、価格 100 円／税込）の商品開発を行いました。開発された商品は、6 月 9 日（木）11 時 00 分～15 時 00 分にイトウコーヒー本店直営ショップ（〒461-0001 名古屋市東区泉 1-7-25）店頭にて学生自ら販売します。店頭では試飲も行っておりますので、是非お越しください。

### 【商品開発について】

全日本コーヒー協会の「コーヒー需要動向に関する基本調査（2014 年）」によると、25～39 歳の 1 週間当たりのコーヒーの飲用状況は男性 13.48 杯、女性 9.49 杯に対し、18～24 歳では男性 5.66 杯、女性 3.91 杯とかなり差があることが分かりました。そこで、商品開発にあたっては「学生が飲みたくなるコーヒー」をコンセプトとし、事前に各大学で学内アンケート調査（計 396 名）を実施。アンケート調査の結果、コーヒーを飲まない人の理由は「苦み（女性 1 位、男性 2 位）」と「飲む機会がない（女性 2 位、男性 1 位）」、コーヒーが好きで飲む人の理由は「香り（女性・男性 1 位）」「苦み（女性 2 位、男性 4 位）」であり、ポイントは「苦み」と「香り」「きっかけ」にあることが分かりました。



### 【はじめブレンド】

商品名は初めて飲む学生にも飲みやすい味・値段で、手軽に本格的なレギュラーコーヒーを体験してもらいたいという思いから「はじめブレンド」としました。香りのよいグアテマラを中心に、後味のすっきり感を残しつつもしっかりとした豆の苦みを味わえます。「苦み」はコーヒーの醍醐味のひとつでもあるので、敢えて残しました。イトウコーヒーのコーヒーはもちろんのこと、スターバックスやドトールのコーヒー、コンビニのコーヒー、インスタントコーヒーや缶コーヒーなど試飲を何度も繰り返したり、ブレンド試飲調査を実施するなど学生が好む味を追求しました。

### <学生が飲みたくなるコーヒー「はじめブレンド」の販売>

○店頭販売：2016 年 6 月 9 日（木）11:00～15:00

○場所：イトウコーヒー本店直営ショップ前（〒461-0001 名古屋市東区泉 1-7-25）

○参加者：名古屋学院大学生 4 名、愛知学院大学生 4 名

#### 【販売について】

名古屋学院大学名古屋キャンパス白鳥学舎翼館 1 階「丸善」店頭でも近日、販売予定です。